

令和5年度第6回藤沢市市民活動推進委員会 議事録

1 日時

2023年（令和5年）10月14日（土）午後1時～午後2時29分

2 場所

藤沢市役所本庁舎5階5-1会議室

3 出席者

(1) 委員 9人

山岡委員長、坂井副委員長、大場委員、関野委員、新實委員、西上委員、西村委員、細沼委員、森田委員

(2) プレゼンテーション参加団体 1事業（2団体）

- ・特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット
- ・藤沢市市民自治推進課

(3) 事務局 6人

日原参事、森主幹、緒方専任主査、伊佐治主任、川島主任、黒川職員

(4) 協働コーディネーター 2人

特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構 手塚氏、堀氏

(5) 傍聴者 2人

4 議題

令和5年度ミライカナエル活動サポート事業（協働コース）の審査選考（二次審査）について

- (1) プレゼンテーション（公開）
- (2) 審査選考（非公開）

5 開催概要

開会

藤沢市市民活動推進委員会

○事務局の日原参事より冒頭に挨拶が行われた。

(山岡委員長) それでは、ただいまから令和5年度第6回藤沢市市民活動推進委員会を開会いたします。

初めに、委員会の成立要件について、事務局よりお願いいたします。

○事務局から成立要件について説明が行われた。

(山岡委員長) それでは、本日は協働コースのプレゼンテーション審査になりますので、この後の進行につきましては、細沼部会長にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

協働コース審査選考部会

(細沼部会長) それでは、協働コース審査選考部会を開会いたします。

プレゼンテーションに先立ちまして、本日審査に当たる委員を紹介いたします。

順番に自己紹介をお願いしたいと思います。

○各委員から自己紹介が行われた。

(細沼部会長) それでは、事務局より資料確認及び本日の日程等について説明をお願いいたします。

○事務局から資料確認及び日程等について説明が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

(1) プレゼンテーション

①特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット／藤沢市市民自治推進課

(細沼部会長) それでは、大変お待たせいたしました。これよりプレゼンテーションを行っていただきます。

特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット、藤沢市市民自治推進課の皆さん、「電子回覧板普及支援事業」について、発表をお願いいたします。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) 湘南ふじさわシニアネットのヒゲの山本、ヒゲヤマで通しております。よろしく申し上げます。

(藤沢市市民自治推進課) 市民自治推進課で自治会のほうを担当しております浅野と申し

ます。どうぞよろしく申し上げます。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) それでは、画面を共有させていただきます。

〔自動音声開始〕

事業の目的ですが、「自治会・町内会では、市や市民センターまた自治会から印刷した回覧物が配布され回覧として各世帯へ回しているが、これを電子回覧板として会員に直接配信することを普及支援する」としております。

「どうして協働事業を行うのか」。湘南ふじさわシニアネットには、デジタルデバイスやI C P、またD X化にスキルを持った方が多くいます。市民自治課は、自治会・町内会を取りまとめる重要な課として業務を行っており、その自治会・町内会との橋渡しを行っていただき、電子回覧板の普及に寄与したいと考えます。

現在の回覧板の現状を見てみますと、市からの配布物、各公民館・センターからの回覧、各地区の協議会からの回覧、そして自分たちの自治会からの配布物を回覧しており、年間 150 部以上を回覧しております。

センターからの回覧物配送の現状ですが、公民館からのイベントのお知らせ、各協議会からの回覧物をセンターの印刷機で印刷し、自治会に配布するために、各自治会の要望する枚数に仕分けして、仕分けしたものを各自治会の役員、広報担当者のお宅に車で配送されております。湘南大庭地区では 49 自治会に配達しております。

自治会の広報担当役員に配達されたものは、各組長や班長に配達します。私どものB地区藤沢自治会では17組で組織しておりますので、役員さんが17軒に配達します。各組長さんは自分の街区、約10軒に回覧を回して、1週間から10日ぐらいで戻ってきます。このようなことが藤沢市内13地区のセンター、また約470の自治会で行われているわけです。

これを電子回覧板で行うと、市、公民館、センターからの配布物を全て電子ファイルにして、各自治会の役員さんにメールで配信、各自治会の役員さんはそのファイルを会員さんに配信するだけで全戸に回覧が届くことになります。紙の回覧板と違い、コロナ菌など飛んでいきません。このようにスマホで受信できます。紙の回覧板と違い、いつでも読み返すことができますので、非常に便利だと思いますが、いかがでしょうか。

電子回覧板のツールにはいろいろあり、ここでは、LINE、BAND、いちのいち

というのを一例として挙げております。

実施するに当たっては、すぐに今の回覧板を廃止するということは無理ですので、併用することになり、手間がふえると思います。また、デジタルデバイスなど必要としない自治会員もおられますので、それらの方も十分に配慮する必要があると思われま

では、なぜやるのか。未来に向けて、今から始める。

事業の概要ですが、電子回覧の調査研究、資料を作成し、利便性を知ってもらう相談会を実施する。自治会へ導入に向け、相談……。

〔自動音声停止〕

スライドはずっとあるんですけども、浅野さんのほうからちょっとはしゃべれやということ。私がしゃべるよりも聞きやすくいいかと思うんですけども、この後、私がしゃべります。

ここから事業の概要について説明したいと思います。これにも書いてありますように、電子回覧板の調査研究をして、資料を作成し、利便性を知ってもらって、相談会を実施する。自治会へ導入に向けての相談会と、軌道に乗るまでの伴走支援を行い、その内容をまとめて、他の自治会さんに広めるようにパンフレットを作成したいと考えております。

なぜツールの研究が必要なのか。既存のメールで十分ではないかという意見もあるんですけども、これに関しましては、セキュリティ上の関係で発信できるメールには限りがあるんですね。200、300のメールを一斉配信はできず、メールマガジンというようなツールを使う必要があります。

また、システムの導入に関してはちょっと知識が要ったりするところもあって、導入しようとして失敗したという自治会さんの事例なども伺っております。このようなツールは発表者、研究者、発表する側、受信する側の役割が要りまして、複数人で研究する必要があると思います。

自治会に向けての説明会ですが、実際の普及活動では、まず自治連の総会でチラシを配布していただき、興味がある自治会さんに集まっていただき、説明・相談会を実施していきたいと思います。自治連の協力を得て、5カ所ぐらいのセンターで、自治会役員さんや協力者を集めて説明会等を開催したいと考えております。

実施自治会を募りたいんですが、計画では1年目に3自治会、最大5と考えており、

2年目に10自治会ぐらいで個別に相談会をして実施したい。パソコンやネット環境の予算を組む自治会さんもおられるかと思います。その場合に、実施に当たって、総会をまたいだら2年かかる、そういうこともあるかと思います。

この事業が終わった3年目以降は、作成したパンフレットで、ほかの自治会に広めていきたいと考えております。

希望すると応募されてきた自治会さんに対しては個別に相談会を行い、その自治会の現状を調査しながら、どのツールを使うかをいろいろアドバイスしていきたいと思えます。

導入しようという自治会さんには体制の構築や運用準備、伴走支援させていただきます。体制の構築では、運用イメージと会員への周知方法などを検討していただく。実際に伴走支援しながら導入していくということで、2～3回の相談会が必要かなと思えます。

運用開始後も、自治会向けのスマホ教室を開いて、この電子回覧板を広める活動も必要となると思えます。また、継続していくために、運営側の体制づくりも必要ではないかと思えます。

実際にシステムを構築し、電子回覧板開始の通知を会員さんに知らせて運用を開始します。

実施された自治会については、その経過と実施後の様子などをまとめて、パンフレット作成の資料としたいと思います。

パンフレットは、「電子回覧板導入の手引き」として、電子回覧板についてその利便性を紹介します。「電子回覧を始める前に」として注意すべき内容などを記載し、「ツールの紹介」など、導入手順のようなパンフレットをつくってきたいです。

実際に導入された自治会さんの様子なども書いたパンフレットで、このようなパンフレットをつくりたいです。これは札幌市が発行したものですが、これの藤沢版で独自のパンフレットを作成したいと考えております。

3年目以降どうするかということです。2年目の事業でパンフレットを作成し、2年間でいろんな自治会さんや町内会さんと直接つながりができます。そういう自治会さんに対して、私どもの自治会もそうですが、運営に対する問題が多々あり、それをDX化させることで、いろんなアドバイスもできるのではないかと考えております。

以上で私からの説明を終わります。

(藤沢市市民自治推進課) お時間がもうないんですが、すみません、市民自治推進課としては、今回このような形で自治会さんに入り込んでやっていくということは、今までやったことがなかったんですけども、これを皮切りにやっていきたいなということを実に強く思っています。市民自治推進課だけではなくて、センター・公民館も一丸となってやっていくことが、ここの事業の肝だと思っていますので、どんな結果になるかわかりませんが、とりあえずチャレンジしたいというところが大きいです。

時間もここまでになりますので、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

(細沼部会長) それでは、発表が終わりました。

おおむね 10 分の質疑応答の時間を設けておりますので、委員の方からご質問があれば、挙手の上でお願いいたします。また、西上委員からもしありましたら、お声をかけてください。皆様いかがでしょうか。

(森田委員) 確認ですけれども、ヒゲヤマさん、山本さん、私は初めてなんですけれども、山本実さんですか、享さんですか。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) 享です。

(森田委員) この事業の総括責任者さんのほうですね。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) 理事長ではないです。理事長は実です。ですから、ヒゲヤマで結構です。センターでもヒゲヤマで通っています。ネット上でもヒゲヤマで検索してください。

(山岡委員長) 電子回覧板の導入を進めていこうということで、いろいろほかの地域の状況なども調べられているとは思いますが、その先行事例の中で、電子回覧板の導入における課題、それから、うまくいかないところもあるということだったんですが、うまくいかない事例として、その理由、なぜうまくいってないのか、今わかっている範囲でどんなことが課題になっているかという認識を教えてください。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) 実は私も自治会長をしておりまして、この事業で、私どもの自治会でも、先に電子回覧板をやろうということを役員会で提案したんです。実際、調査しました。そうしたら、80%ぐらいの人がスマホを持っているんです。

それで、あっ、これならできるかなという判断をしたんですけども、実際、いろんなアプリがありますから、それで検討会をしますので、協力者は申し出てくださいますと募りました。うちは200世帯の自治会で、全部戸建て住宅なんです。何人ぐらい来たと思

いますか。——来ないんです。2回やりました。1回目は1人来てくれました。それはスマホの初心者でした。スマホの勉強会も兼ねて一緒にやりますので、スマホに慣れていない人も来てください。要するに、アプリを使うのに、スマホに慣れてない人が、どんなアプリで、どこでつまづくかというのも私は知りたかったので、ぜひ初心者の方も来てくださいということで投げたら1人だけ来てくれたんです。それは初心者の方です。2回目もやったんですけれども、2回目は誰も来てくれなかった。

この資料にも書きましたが、自治会からどのくらい来るか。1年目で3件ぐらいやりたい。最大5ぐらいやりたい。2年目で10自治会やりたいと今計画を立てていますが、でも、そこで何自治会さんが「うちはやりたい」、「やってみよう」と思って声を上げてくれるか、すごく心配なんです。浅野さんはいっぱい来ると思っているんです。私はすごく心配なんですよ。ひょっとしたら、そこで1団体、2団体しか来なかったら、この企画は1年でやめます。時期尚早だったんじゃないかと思って、もう一回計画を練り直します。今そういう気持ちでおります。

(山岡委員長) 今のお話ですと、自治会側も自治会員さん側も、端的に言うと、そういうことに関心がないとか、もっと言うと、あまり必要性を感じてないとか。そうだとすると、今おっしゃったようなことが起きる可能性もなくはないと思うのですね。それをどう克服していこうとお考えですか。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) 私も自治会長でいろいろウェブページなどもつくっているんですけれども、自分がつくったウェブページを見ても、おもしろくないんです。楽しい自治会にしたいんです。それをどうしたらいいか。

私の自治会ではずっと1年自治会長だったんです。ところが、私が1年やって、やり残したことが結構あったので、もう一年やってみようということで、初めて2年連続自治会長をしたのが私なんです。それでいろいろやっている中で、自治会がおもしろくない。特に役員会ですね。どうしたら楽しい自治会運営ができるのか。今そこにすごく悩んでいる。

実際はもっとおもしろいものはずなんです。地域の活動ですから、みんなでワイワイ寄って、いろんなことをやりましょうよということをもっと広めたいと思っている。ですから、今ウェブページをつくってやっているんですけれども、自分で見ても、役員会でこんな決定をしました、回覧板はこんなんですと上げているだけで、おもしろくないな。もっとおもしろくしたい。ではどうすればいいのか。私自身も非常に悩んでい

るところです。

(関野委員) 1つ目は、委員長と同じで、先行研究というか、そういうところでした。

もう一つが、「提案団体が果たす役割」のところに、「自治会に合った仕様のアプリを紹介」という記述があります。これは現状で複数のアプリが候補にあって、その中から教える側の人学んで、一つ一つの自治会に教えていくのかな。別のものを教えていくのかなという印象なんです。

後々のサポートを考えた場合、要は3年後、終わってからのコストみたいなところを考えたときに、これはある程度統一したほうが、効率がよさそうですけれども、こういう記述になっている理由が何かあればお聞かせいただきたいです。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) アプリなんですけど、いろんなアプリがあって、それぞれ特徴があるんです。自治会さん自身が、「双方向の通信もやりたいよ」、「いや、うちは回覧板をみんなにボンボン投げるだけでいいよ」とか、やっぱり自治会さんの姿勢があるので、それに合ったものをチョイスできるように今研究しているところです。

見ていくと、いろんなアプリがあるんです。あつ、これはこっち側に寄っているよね。できることはみんな大体同じなんですけれども、中にはカレンダーが充実していて、集会所の利用なんかも十分載せられるよというアプリもありますし、いや、双方向のコミュニケーションを重要視しているんだよというアプリもある。

それは自治会さんの使い方、どういう自治会にしたいかはおのおの違うと思うので、それに合ったものを自治会さんに提供する。「あなたの自治会はこういうことを考えているんだとしたら、このアプリがいいんじゃないですか」というアドバイスができるように今研究しています。

(関野委員) さっき言ったコストの面もあるので、幾つも並べる中で数だけふやすようなことをしないで、ある程度導入のことを考えていただけるといいかなと思います。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) そうですね。それは絞ります。

(細沼部会長) ほかの委員の方はいかがでしょうか。西上委員は、ご質問は大丈夫でしょうか。

(西上委員) パンフレットを作成されるということも書いてあったので、そのパンフレットの中に、どういうことをやりたければ、こういうアプリとかツールがお勧めですよみたいに書かれるのかなと思って聞いていたんですけど、ゼロから始める方がお勧め

を見つけるのはなかなか難しいんじゃないかと思うんですが、そのあたりはどうされる予定ですか。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) 確かにそうですね。知らない人がアプリを選択するのは非常に困難だと思います。ですから、このアプリはこっちの方面に向いていますよという紹介は、パンフレットに載せたいと思います。

(西上委員) もう一つ、教える方々は、どのくらいのスキルをお持ちの方々が教えたり、サポートされるのでしょうか。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) どのくらいのというのは？

(西上委員) 例えば一般的に企業とかだと、エンジニア歴が何年ありますか、電子回覧板を過去に何か所導入した実績がありますとか、プロだとそういう話になると思うんですが、どういう方が教える側になるのか。

(特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット) シニアネットとしては、企業でいろんなことをやってきた人が、定年した後に入られている方が多いです。私も実際パソコンは、どっちかというとハードのほうが好きなんですけど、ソフト関係をやってきた人もいますし、宣伝面で広報の部類のことをやってきた人もいますし、いろんな方がいらっしゃいますので。

(藤沢市市民自治推進課) 西上委員がご質問された部分にストレートに答えてないような形になってしまうのですが、今回エントリーシートの中の5ページに「個別事業責任者」という形で、山本さん初め、伊藤さん、石井さんという3名のお名前が入っています。この3名の方は、こういったデジタルの部分に明るいというのは当然なんですけど、3人とも共通しているのが、皆さんご自身の自治会でデジタル化に向けて動かされていた実績がある方なんです。

今回デジタル化を自治会に対して説明していくという部分で、西上委員がおっしゃるように、デジタルのスキルを求められることは確かにあると思うんですが、それ以上に、自治会の中でこういった丁寧な意思決定をしていけば、デジタル化に振り向いてもらえるのかということのほうが行政側としては大事なんです。そこがこの3名の方はあるので、私どもとしては非常に安心をして、一緒に汗をかきたいなということを現段階としては思っています。

(西上委員) その辺が全面的に伝わるといい。藤沢市内でデジタル化に取り組んだ実績がありますということが一番最初に掲げていただくのが、多分一番安心感があって、今お

っしやられたような丁寧な進め方という話につながってくると思いますので、何か経験があるというよりは、藤沢でやったことがありますということをお伝えさせていただくといいいのかなと思います。

(細沼部会長) では、以上で終了となります。

特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット、藤沢市市民自治推進課の皆様、ありがとうございました。

団体のプレゼンテーションが終了いたしました。団体の皆様におかれましては大変お疲れさまでした。

ここで事務局にお返しいたします。

(事務局) 細沼部会長、ありがとうございました。

結果は後日郵送にて通知いたします。

以上をもちまして本日の公開プレゼンテーションは終了となります。

委員の皆様は休憩をとっていただきまして、5分ほど延びているので、1時50分ごろから引き続き本会場で審査会を行います。よろしくお願いいたします。

発表団体の皆様、傍聴者の皆様におかれましては、出口にてアンケート用紙を回収させていただきますので、ご協力いただけた方は、ご提出の上、お忘れ物のないようお気をつけてお帰りください。

この後、こちらの会場を使用いたしますので、大変申しわけございませんが、速やかなご退席にご協力をお願いいたします。

本日、朝日町駐車場にお車をとめた方は、駐車券を事務局の職員へお渡しください。認証機の処理をいたします。

本日はありがとうございました。

(団体退出)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

午後1時40分 休憩

午後1時47分 再開

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

(2) 審査選考

(藤沢市情報公開条例第6条第3号に基づき非公開)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○協働コースの審査選考において、二次審査（プレゼンテーション審査）通過団体は、「特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット／藤沢市市民自治推進課」と決定された。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

閉会

(山岡委員長) それでは、最後に事務局より連絡事項をお願いいたします。

(事務局) 審査選考ありがとうございました。

結果につきましては、後日、団体へ郵送いたします。また、結果の送付にあわせて、本日「団体への意見表」にご記入いただいた審査意見も団体に送付いたします。

なお、ご記入いただきました「団体への意見表」は、お持ち帰りにはならず、事務局の職員にお渡しくださいますようお願いいたします。

本日の二次審査を通過しました団体は、今後最終審査として12月16日（土）に予定しておりますヒアリング審査がございますので、部会委員の方におかれましては、後日、三次審査もよろしくをお願いいたします。

では、次回の委員会ですが、今回は11月25日（土）午後1時からとなります。詳細につきましては、後日、開催通知等でご案内させていただきますので、ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

最後に、本日、朝日町駐車場にお車を止めた方は、駐車券を事務局へお渡しください。認証機の処理を行います。

事務局からは以上です。

(山岡委員長) それでは、以上をもちまして第6回藤沢市市民活動推進委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

午後2時29分 閉会